

肉用牛の飼養動向

- ・ 飼養戸数は、小規模層を中心に前年に比べ減少傾向で推移。
- ・ 飼養頭数は、平成29年から2年連続で増加し、令和3年も増加（＋49千頭）。
- ・ 一戸当たり飼養頭数は前年に比べ増加傾向で推移しており、大規模化が進展。
- ・ 繁殖雌牛の飼養頭数は、平成22年をピークに減少していたが、平成28年から前年に比べ、増加傾向で推移。

区 分 / 年		平成25	26	27	28	29	30	31	31参考値 ※注3	令和2 ※注4	3
肉用牛	戸 数(千戸)	61.3	57.5	54.4	51.9	50.1	48.3	46.3	45.6	43.9	42.1
	(対前年増減率)(%)	(▲6.0)	(▲6.2)	(▲5.4)	(▲4.6)	(▲3.5)	(▲3.6)	(▲4.1)	—	(▲3.7)	(▲4.1)
	頭 数(千頭)	2,642	2,567	2,489	2,479	2,499	2,514	2,503	2,527	2,555	2,604
	(対前年増減率)(%)	(▲3.0)	(▲2.8)	(▲3.0)	(▲0.4)	(0.8)	(0.6)	(▲0.4)	—	(1.1)	(1.9)
	1戸当たり(頭)	43.1	44.6	45.8	47.8	49.9	52.0	54.1	55.4	58.2	61.9
うち 繁殖雌牛	戸 数(千戸)	53.0	50.0	47.2	44.3	43.0	41.8	40.2	40.1	38.6	36.9
	頭 数(千頭)	618	595	580	589	597	610	626	605	622	633
	1戸当たり(頭)	11.7	11.9	12.3	13.3	13.9	14.6	15.6	15.1	16.1	17.1
うち 肥 育 牛	戸 数(千戸)	13.5	13.1	11.6	11.7	11.3	10.8	10.2	10.1	10.0	9.7
	頭 数(千頭)	1,663	1,623	1,568	1,557	1,557	1,550	1,522	1,542	1,548	1,575
	1戸当たり(頭)	123.2	123.9	135.2	133.1	137.8	143.5	149.2	152.7	155.1	161.8

資料：農林水産省「畜産統計」（各年2月1日現在）

注1：繁殖雌牛と肥育牛を重複して飼養している場合もあることから、両者の飼養戸数は肉用牛飼養戸数とは一致しない。

2：肥育牛は、肉用種の肥育用牛と、乳用種の和としている。

3：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

4：令和2年の対前年増減率は、平成31年の参考値との比較である。